

》施設事業

空港は航空機とターミナルビルだけでは存在しないものです。これに空港機能維持のための直接的、間接的に関係する様々な施設設備があります。たとえば航空機を整備するハンガー（格納庫）や、空港貨物を取り扱うカーゴターミナル、空港周辺に位置する貨物の中継基地、機内食工場、また空港の各施設へエネルギーを供給するための冷熱源供給設備、特別高圧変電所等々、どれひとつとて欠くことのできないものです。当社はこれらの施設設備の電気・機械・空調設備等の言わば心臓部の保守整備を通してお客様の信頼とご要望に応えております。

空港を支えるエージーピー開発の技術。

》動力事業

成田空港や羽田空港の拡張工事に伴い、航空需要がますます増大し、これに対応した地上より充実した支援体制が要求されています。その中で当社が駐機中の航空機に対して、機内照明および機内各種機器稼働用の電力、旅客サービス用の冷暖房気、およびジェットエンジン始動用圧搾空気を供給いたします。また、ボードコントロールによるソフトできめ細かい支援体制を整え、お客様のニーズにお応えすると共に排気ガスの削減、騒音の低減、航空燃料の節減で空港のクリーン化に貢献いたします。

》整備事業

ターミナルビルと航空機を結ぶ可動式の通路により、悪天候でも快速に乗り込むことのできる旅客搭乗橋、旅客から預かった大切な荷物を安全、確実、素早く機内に導く荷物搬送設備等、空港の発着支援設備の保守、維持管理業務を最高の技術をもってお応えしております。

私たちの技術が、 空港の一翼を担っています。

当社は、AGPグループの企業として、成田空港・羽田空港に事業場を設置し、グループのビジョンである「社会からの信頼を受ける会社を目指し、社会の繁栄と地球環境の浄化保全に貢献すること」を理念とし、空港界の発展に貢献しております。



当社の主な事業は、空港機能を維持するために必要な各種施設設備の保守・点検・整備事業と、駐機中航空機が必要とする電力・圧搾空気・冷暖房気等の動力供給事業を行っております。

従来同事業は、当社の親会社である株式会社エージーピー（AGP）が、その専門会社として、日本の航空界の発展と共に実績を積み重ねてまいりましたが、事業の多様化、多角化と共に、高品質できめ細かいサービスを提供するための合理的でかつ効率的な組織運営が要求されるようになってまいりました。

そのため同社では地域別に分業化を推進することとなり、関東地区においてもより充実したサービスの提供を目的に、1991年4月1日当社が設立されました。

